

多胎妊娠という発想は、特に何年も不妊を経験した後のある人たちにはとても魅力的なものです。多胎妊娠でも健康な赤ちゃんが生まれる幸運なカップルも実際いるので、いつもそんなものだと思います。つまりほとんどの人が、先のリストの最初のいくつかの項目までしか考えていないのです。でもたとえ最善の状況のもとであったとしても、複数の赤ちゃんの誕生は両親の生活を一変します。意図して多胎妊娠を求める前に、カップルは、母子の健康上のリスクや、自分たちの生活に起こるであろうすべての変化について考えておく必要があります。

- どうやって赤ん坊全員にミルクをやるのでしょうか？一緒に、それとも別々にひとりずつやりますか？
- どのように入浴させましょう？
- どのように外出しましょう？
- 両親は、もし一人の赤ん坊が寝ているときでも、もう一人が起きて、親のケアを必要とするかもしれません。数年間にわたるであろう睡眠不足にどのように対処するのでしょうか？
- どこにすべてのベッドをいれましょう？
- 数年後、新しい家族の必要性にみあうだけの十分な金銭があるでしょうか？
- もし赤ちゃんたちが未熟児で生まれた場合、一人かもっとそれ以上の子どもが、特別な治療を受ける必要があるかもしれません。それはそれぞれの子どもに同じだけの時間をかけてあげられないことを意味しています。これは、両親の心に罪悪感やフラストレーションを生じさせるはずで

ですから、多胎妊娠が自分たちの不妊治療の中で本当に求めていることなのかどうかを決める前に、このリストにある点すべてを話し合っておくことがカップルには大事なのです。

シャロン・モーティマー博士

参考文献

- Driscoll G (2001), "The Wanted Pregnancy", in Medicine Today, Feb 2001, p. 63.
- Hurst T, Lancaster P (2001), Assisted Conception in Australia and New Zealand 1999 and 2000, pp. 20-27. AWorldHealthOrganisationAWorldHealthOr
- Bryan EM, Multiple Pregnancy, Multiple Birth, The Multiple Birth Foundation, UK.
- Bryan EM, Twins and Higher Order Births, A Guide to Their Nature and Nurture, Edward Arnold, (1992).
- Petterson B, Nelson K, Henderson D, Watson L, et al (1993), "Cerebral Palsy in Birth in Western Australian the 1980's", BMJ 307, pp.1239-1243.

言葉の説明

妊娠貧血

妊娠貧血は、赤血球の値もしくはヘモグロビン値が通常よりも低いことを意味しています。これは、赤血球が体のまわりの酸素を取り込むために、より激しく働かなくてはならないことを意味しています。荷重な活動をしているとき、赤血球はおそらく自身の仕事をきちんとすることができず、人は疲れます。妊娠貧血は妊婦の50パーセントに起こります。

子癇前症(妊娠高血圧症候群、妊娠誘発高血圧、妊娠中毒症)

子癇前症は、妊娠の高血圧、尿中たんぱくの発生、深刻な浮腫で特徴的な重篤な妊娠の疾患です。これはもっともよく知られている妊娠中の問題で、すべての妊娠のうち約5~10%に起こります。1、2%のケースでは、母体と胎児両方の生命を脅かします。

双胎間輸血症候群

双胎間輸血症候群は、ひとつの体からもうひとつの体により血液が過剰に流れ、双子に必要な子宮内の栄養を一方が主に受けることによって起こります。これは一卵性双生児にのみ起こります。二卵性双生児とは違って、双子の胎盤の動脈や静脈が直接つながっているために起こります。

脳性小児麻痺

脳性小児麻痺は運動と姿勢に関連する一連の障害のことです。「脳性」は脳についていい、「麻痺」は筋肉のコントロールが弱かったり欠如していることをいいます。脳性小児麻痺は、慢性的な状態ですが、子どもが運動技能を習い練習するように、この症状をもつ子どもも、動きをだんだんコントロールできるようになります。

顕微授精(ICSi)

顕微授精はブルッセル(ベルギー)のグループによって完成されたもので、卵子に直接、ひとつの精虫を入れるために非常に精巧なピペットを使います。少なくともわずかでも動く精虫が授精のために取り出され(運動性はまだ生きている証拠としても使われます)、精虫は授精前に運動しないようにされます。さもないと、精虫は卵子の中で泳いで卵子の殻をやぶってしまいます。顕微授精は、抗精子抗体に効果があることで知られています。



ARTで多胎妊娠の可能性が高くなるということは長年、子どもをもつことに巧くいかなかった人には魅力的に映ります。でも、ARTの治療でいくつ胚を移植するかを決める前に、たとえ許容されている胚の最大移植数内であったとしても、いくつかのありのままの事実について考えておくべきです。
このファクトシートは医学的な事実を紹介し、一人の子どもを育てるとき以上に、多胎妊娠が、感情的、現実的にどのようなことを意味するかについてとりあげています。

不妊の医療消費者国際サポート組織(ICSi)ネットワークは、医療提供者、政府組織、各国のメディアと効果的な関係を築くことによって、患者さんが生殖補助医療のヘルスケアと公共政策において対等な立場にたてるよう、患者さんのエンパワーメントに取り組んでいます。

この目標と私たちが取り組んでいる課題を促進するためには、私たちは毎年、各国の代表者が集い国際会議を開いています。これは欧州ヒト生殖胎生学会(ESHRE)の年次大会の前に開催されます。

ホームページ

www.icsi.ws

Eメール

Info@icsi.ws

このファクトシートは次の教育助成金を受けてつくられました。



© 2001 ACCESS Australia Infertility Network and Petra Thorn

多胎妊娠と 生殖補助医療



International Consumer Support for Infertility

ファクトシート — 多胎妊娠と生殖補助技術

医学的事実

2001年9月に補助生殖の医学的・社会的・倫理的側面を見直すために開催された世界保健機関の会議では、多胎妊娠を生殖補助医療（ART）における「重大」な問題と認めました。ARTクリニックの今後の課題は、成功率を維持しながら、双子や三つ子のリスクを減らしていくことです。さまざまな研究が、移植する胚の数を3つから2つに減らしても妊娠率には影響せず、三つ子のリスクがほぼなくなったことを示しています。いくつかの国では、近年単胚移植に移行する傾向もみられます。

ARTで多胎妊娠する確率が非常に高くなるという事実は、長年子どもを持つとしながらも失敗してきたカップルには魅力的です。でもART治療で移植される胚の数を決定する前にいくつかの実情（以下をご覧ください）について考えておく必要があります。

人の子宮は、赤ちゃんを一人ずつ育てるようにできています。つまり多胎児にうまく対応するようになっていません。双子の妊娠ではほとんど健康な赤ちゃんが生まれますが、三つ子以上の場合は健康に生まれる可能性が低くなります。

多胎妊娠とは何なのでしょう？

多胎妊娠は、子宮の中で、1度に2胎かそれ以上の胎児が育っていくことをいいます。これは自然に起こることもあり、女性がひとつ以上の卵子を排卵してそれが受精し、子宮に着床したときに起こります。もし2つ卵子があれば、これは二卵性（「二接合体性」とも言う）の双子の多胎妊娠になります。時々、1つの受精卵が2つに分かれて、一卵性双生児として発達します。受精卵が分かれるようなときには、まれに2つ移植した受精卵が四胎の妊娠になることもあり、さらに母子のリスクを高めるということも注意しておかなければならない重要な点です。

一卵性双生児の出産の増加は、胚盤胞移植でも知られるようになってきており、「アシスト・ハッチング」という、胚の表面の透明帯の一部をレーザーか酸で溶かし、精子を送り込む管を通しやすくすることで受精しやすくする方法も、一卵性の発生を増加させる可能性があるとして、医学の世界では言われるようになってきています。さらにたくさんの研究

が計画されていますが、いずれにしてもこうした方法を利用することで、ひょっとすると移植の成功率を増やせるかもしれないと考えている人たちは先に述べたの事実注意到注意する必要があります。すべてのART治療で多胎妊娠の発生率が2, 3倍増加することに加えて、以前は、顕微授精が多胎妊娠の可能性がさらに高めるのではないかと懸念されていました。でもその説は現在では否定されています。

多胎妊娠は通常、最終月経後6～8週間目に超音波で発見されます。この診断はIVFや他のほとんどの生殖補助医療のあとの通常行われます。時々、排卵刺激するために薬剤（排卵誘発剤）だけが使われて、こうした診断のことは言われなくてもいいかもしれません。そうした場合には、主治医に相談してみることをお勧めします。

多子出産とは、多胎妊娠の結果、2人以上の赤ちゃんが生まれることをいいます。

ARTの治療で多胎妊娠は増えるのでしょうか

単純に答えは「はい!」といえます。80件の妊娠のうち1件は双子になりますが、IVFでの確率は5件に1件以上で、通常移植する胚の数を3つ、またはたった2つと制限する規定がある国々でさえもそうです。IVFの治療で多胎出産する確率は、それぞれの治療でいくつ胚を移植するかに直接関係しています。成功率が向上してきたことで、こうした問題を懸念する見識ある医療者達のあいだでは、このような治療周期あたりの胚の移植数を制限する動きがみられます。

注射や経口による排卵誘発剤は、しばしば卵胞の発達を刺激するために使われ、これらは人工授精でもよく使われます。（人工授精で）自然に妊娠しても、受精をコントロールしなかったり、たくさん受精卵が子宮腔に到達すると、多胎妊娠の危険性が高くなります。実際に、ほとんどの国々では、ARTでよりも、こうした治療のコントロールをしなかった後のほうが、多胎妊娠の危険性が高くなっています。これらの治療は規制されておらず、より広範に行われているので、その影響がもっと顕著にでているのです。こうした方法の利用は、多くの場合、完全に医学的に保障されていますが、過剰な反応や多胎妊娠というよく起こりがち問題を避けるためにも、そのすべてにおいて注意深い監視が必要です。

減数(減胎)手術

通常、三つ子やそれ以上の多胎妊娠の場合、残っている胚を元気な赤ちゃんに成長させるチャンスを高めるために、医師が妊娠の早い時期に、胚をひとつかそれ以上減らすことを考えてみてはどうかと言うかもしれません。これは感情的にも、倫理的にもとてもむずかしい選択といえます。カップルは減数手術について、自分たち自身にとって正しい決定ができるように支援し、必要な限りのアドバイスや援助してくれる医師やカウンセラーと慎重に検討する必要がありますがあるでしょう。

多胎妊娠では何が問題なのでしょう？

・多胎妊娠は、子癇前症(妊娠高血圧症候群)、妊娠性糖尿病、体重過多、妊娠貧血、腰痛、出産後の弛緩、そして最も重要なことに未熟児出産とそれに伴うすべての問題の起こる危険性を高めます。

・双胎妊娠で子どもを失うリスクは単胎妊娠の5倍です。

・双子や三つ子の出生児は一般的に、平均して3.5キロ(約7ポンド)ある単胎出産の子どもの体重よりも少なく生まれます。双子の新生児の平均体重は2.5キロ(約5ポンド)で、三つ子の新生児は、1.8キロ(約3ポンド)です。新生児たちにとっては、成長の度合いが異なったり、「双胎間輸血症候群」のような血液の問題も、短期、長期にわたって重要な問題となってくるはずで

・脳性小児麻痺のような長期的な障害のリスクも増加します。ウェスタン・オーストラリア州での出生調査では、三つ子妊娠は単胎妊娠のときよりも、脳性小児麻痺の子どもが16.6倍も多く生まれることがわかっています。脳性小児麻痺の割合は、双子の場合1000件の出生に対し7.4件で、三つ子の場合は26.7件、一人の場合は1.6件です。

・胎児数の多い多胎妊娠ほど、さらにリスクも大きくなります。子どもが元気に生まれたとしても、子どもたちには情緒障害や学習障害が多くみられ、また親たちにはとても大きな経済的問題がみられます。

これは生涯にわたってかわかることであり、こうした家族は、一人出産の子どもを持つ家族と比較して結婚がダメになることも多いのです。

こうしたすべての理由から、治療を始める前に主治医やカウンセラーとこの問題について話し合う必要があります。

不妊のカップルに非常によくみられるあせる気持ちと治療への強引な意欲は、本質的な問題を慎重に考えてみることで抑えなければいけません。私たち全員がめざすのは元気な子どもを持つことで、多胎妊娠がそれを台無しにしてしまうかもしれないのです。もし、あなたが多胎妊娠をしたり、多胎妊娠で子どもを持ったなら、みなさんの地域にも支援やアドバイスが用意されています。地元の不妊治療支援グループに問い合わせたり、あなたの国の多胎妊娠の組織をたずねてみてください。

(日本の場合、多胎育児サポートネットワーク:

<http://www.tatai-ikuji.jp/>)

(医学博士 **イアン・ジョンストン**)

感情的事実

多胎妊娠で子どもを持つことが本当に意味することとは？

- ・たくさん抱きしめてキスすること
- ・突然増えた家族
- ・たくさん家事
- ・たぶん、もっと座席の多い新しい車
- ・たぶん、もっと部屋の多い新しい家
- ・行動力を失う—2人がそれ以上の赤ん坊をつれて出かけられるようになるまでに時間がかかる
- ・フルタイムの仕事一家から離れていても、家にいても、24時間シフトの仕事
- ・余分な金銭負担—子どもがみんな同じ大きさなので、お下がり着せることはできない
- ・ベビーベッドや子ども用カーシートのようなものを同時にいくつも買う必要がある
- ・子どもたちは未熟児で生まれるかもしれない
- ・子どもの何人かは健康上の問題を抱えるかもしれない
- ・子どもの何人かは生存できないかもしれない
- ・罪悪感、フラストレーション、落ち込みの気持ち